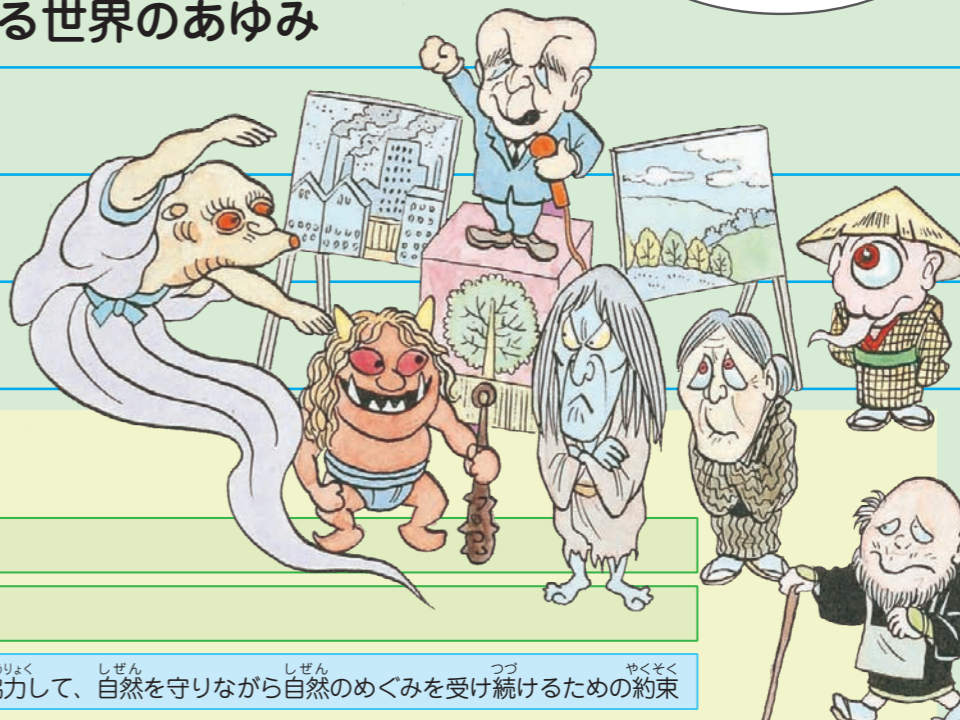


われわれに
危機がせまってきておる。
全員で立ち向かおう。

年	地球温暖化対策の世界のあゆみ	生物多様性を守る世界のあゆみ
1972	ストックホルム会議 （スウェーデンのストックホルムで開催） 環境をテーマにした世界初の国際会議が開かれました。	
1985	フィラハ会議 （オーストリアのフィラハで開催） 二酸化炭素による地球温暖化の問題がとり上げられた世界初の国際会議です。	
1988	気候変動に関する政府間パネル（IPCC）設立 各国の研究者が地球温暖化について話し合う場をつくりました。	
1992	地球サミット （ブラジルのリオデジャネイロで開催） 持続可能な開発の実現のために具体的な対策を話し合いました。 リオ宣言 環境を守りながら 開発するための原則 アジェンダ 21 世界がリオ宣言に したがって行動するための計画 気候変動枠組条約 各国が協力して地球温暖化対策にとりくむための約束 生物多様性条約 各国が協力して、自然を守りながら自然のめぐみを受け続けるための約束	
1997	気候変動枠組条約第 3 回締約国会議（COP3） （京都で開催） 先進国を中心に各国の代表が集まって、温室効果ガスを減らすために話し合いました。（「京都議定書」）	ヨーロッパや日本などの先進国全体で 2008 年から 2012 年までに 1990 年に出していた量より少なくとも 5% 削減。
2002		生物多様性条約第 6 回締約国会議（COP6） （オランダのハーグで開催） 生物多様性が失われるスピードを 2010 年までに明らかに減少させるという「2010 年目標」が約束されました。
2006		地球規模生物多様性概況第 2 版（GBO2）発表 生物多様性は引き続き失われていることが分かりました。
2007	気候変動枠組条約第 13 回締約国会議（COP13） （インドネシアのバリ島で開催） バリ行動計画を発表 2013 年以降のとりくみについて 2009 年までにきめることを発表	G 8 環境大臣会合 （ドイツのポツダムで開催） 生物多様性が G 8 で初めて主なテーマになりました。
2008	G 8 洞爺湖サミット （北海道で開催） 先進国の首脳が「地球温暖化」をテーマに話し合い、「2050 年までに世界の温室効果ガス排出量を少なくとも今の半分に減らす」と約束しました。	生物多様性条約第 9 回締約国会議（COP9） （ドイツのボンで開催） 生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）の名古屋での開催がまじりました。
2009	気候変動枠組条約第 15 回締約国会議（COP15） （デンマークのコペンハーゲンで開催） 地球温暖化対策の各国の削減目標と行動を話し合いました。	
2010	12 月 気候変動枠組条約第 16 回締約国会議（COP16） （メキシコで開催予定） 2013 年以降の国際的なルールについて話し合われます。	10 月 生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10） （名古屋で開催）



※ COP = 条約の締約国会議のことです。